

〔平成三十一年度〕

# 第三十五回 吉徳ひな祭俳句賞

入賞作品一覧

株式会社 吉徳

選者吟

法臘四十五の雛飾られし

桃の日や瀬戸内寂聴筆一本

雛納めしていきいきと法話の日

黒田 杏子

\*法臘は得度以後の年齢。寂聴さんは五十一歳の秋に得度。

一般の部

〔最優秀賞〕

雛飾る時浮かびくる未来かな

内野 義悠 (三十歳) 埼玉県所沢市

〔一席〕

シングルマザー決意新たに初節句

公文 あかね 静岡県伊東市

【二席】

明日嫁ぐ姉も手伝う雛納め

合志 珠希（十八歳 大学一年） 横浜市磯子区

美しき雛の言葉よ母娘

李 優紀（二五歳 無職） 大阪市西淀川区

【三席】

雛を出し娘を産んだ日を語る

塩田 友美子（三二歳 主婦） 東京都江戸川区

おひさまに伏し目がちなるおひなさま

早川 智恵子（七四歳 無職） 新潟県上越市

転勤族小さき雛様連れ歩き

鈴木 綾子（四五歳 主婦） 大阪府泉南郡

【四席】

朝起きて雛の顔みていってきます

田浦 梨央（高校三年） 東京都・開智日本橋学園高等学校

雛祭母似の揃ふ三姉妹

中村 梨枝（七四歳 パート） 新潟県三条市

深々と嬰眠りいて雛届く

鈴木 美江子（八十歳 無職） 栃木県那須烏山市

一度だけははと飾りし雛かな

菅谷 英美子（七七歳） 北海道帯広市

雛段に母の遺影をそつと置き

昆 清（七九歳 無職） 新潟県新潟市

ジュニアの部

【最優秀賞】

おひなさまもつてください子どもたち

さとう あきや (小学四年) 東京都・葛飾区立幸田小学校

【一席】

朝起きて瞳に映った雛の顔

上里 麻尋 (中学一年) 東京都・開智日本橋学園中学校

【二席】

うれしくてみんなが笑うひな祭り

稲田 陽斗 (小学四年) 宮城県・石巻市立蛇田小学校

その年の私の心ひなの顔

石川 胡桃 (中学二年) 長崎県・佐世保市立祇園中学校

【三席】

ひなまつりたのしみだからはやくきて

いまい あやと (年長組) 新潟県・長岡市 恵和こども園

古雛にはなしかけたる小さき我

伊葉 小夏 (中学二年) 愛媛県・東温市立重信中学校

ひな人形動きたいのをがまんして

西羅 慶 (小学四年) 兵庫県・篠山市立城北畑小学校

ひなあられ祖父から毎年送られる

鎌田 絹子(中学三年) 東京都・江東区立第二亀戸中学校

おひなさま常に隣に好きな人

森本 清香(中学三年) 東京都・小野学園女子中学校

見る人に笑顔の魔法雛人形

田中 明日香(中学三年) 青森県・佐井村立福浦小・中学校

ひな祭あたたかい笑みに雪とける

岡野 丈司(中学一年) 広島県・福山市立広瀬中学校

朝起きてひな人形が目の前に

寺井 悠太(小学五年) 東京都・葛飾区立幸田小学校

(敬称略)

入賞二四作品・応募総数、四、五〇七句

(一般の部：入賞一二作品・応募一、八二九句

ジュニアの部：入賞一二作品・応募二、六七八句)